

# 榿の木だより

2024年10/1

第116号

ひとりひとりひかる

# きぼう

発行：榿の木福祉会（法人本部）  
かしの木の会

一宮市富田字砂原 2147

Tel/Fax 0586-63-2111 / 61-1200

榿の木福祉会 ホームページ

http : [www.kasinoki.jp/](http://www.kasinoki.jp/)



## ～ 榿の木盆踊り ～

8月2日（金）に、榿の木盆踊りを開催しました。（詳細はP2にて）



### 【 目 次 】

- 1P 表紙
- 2P 榿の木盆踊り
- 3P おやマルシェ
- 4P 榿の木園芸センター さいた
- 5P かしの木フェスティバル
- 6P 新人インタビュー、お知らせ

## 令和6年度 榎の木盆踊り

8月2日(金)に榎の木盆踊りを開催しました。開催場所を法人本部周辺に変更して2年目になります。毎年榎の木盆踊りは10日に開催していましたが、一宮びさい夏まつりと日程が重なることもあり、今年は一週間ほど前倒しをして平日の開催となりました。

会場の配置は昨年に引き続き、メイン会場とサブ会場を設置しました。メイン会場では盆踊り。ボランティアで参加して下さった「あすか会」の方の踊りの誘導もあり、楽しく踊ることができました。

サブ会場ではお子様向けのビンゴゲーム大会と、修文学院高等学校の和太鼓部による演奏。太鼓の演奏はとても迫力があり感動的でした。

更に、盆踊りに華を添える模擬店やキッチンカー。キッチンカー出店団体さんへの呼びかけには苦労しましたが4台のキッチンカーに出店をしていただきました。法人内の各事業所からは焼きそば、フランクフルト、とうもろこしなど、様々な飲食物の販売、名古屋食糧様からはおにぎり販売があり、寄せ植え販売やゲームコーナーも会場を盛り上げました。職員によるバルーンアートも大好評でした。



今年の盆踊りのフィナーレは打ち上げ花火です。職員による、ナイアガラ、複数の打ち上げ花火が夜空を彩り会場を締めくくりました。



今年は平日、災害級の暑さの中、コロナ11波の感染拡大の心配がある中での開催となりましたが、体調不良を訴える方もなく当日は皆さんリズムに合わせて自由に体を動かしながら思い思いの表現で盆踊りを踊ったり、何を食べようかと会場内のあちらこちらを吟味しながら回る姿があって、皆様の笑顔がたくさんあふれていました。榎の木盆踊りをいろいろな楽しみ方で過ごしている姿を見ることが出来ました。



今回、盆踊りの開催にあたりまして、地域のボランティアの皆様、地元自治会の皆様、ご協力いただいた多くの皆様のおかげで楽しく、素晴らしいイベントにすることができました。この場をお借りしまして心よりお礼申し上げます。

また今年は災害級の暑さと言われる中、前日、当日と準備に携わっていただきました職員の皆さんお疲れ様でした。

## おやマルシェ 開催報告

令和6年7月13日(土)

第4回目となる『おやマルシェ』の開催です。

例年7月第4週に行ってきたイベントですが、今年は一宮市の七夕まつりの日程と重なり、2週繰り上げの開催に。思えばこの決定が開催前日まで一喜一憂する事になるとはこの時は思いもしませんでした…。

6月に入り、梅雨遅れの予報を聞きドキドキ。6月下旬の梅雨入りから『雨天』の予報は続いたものの晴天が続いており「もしかして!」の期待もしていましたが、7月からは雨続きの梅雨空。それでも開催日近くで晴れ間を期待する予報を見ては毎日一喜一憂する中、前日の予報はやはり雨。「やっぱりダメか〜」と思いながら前日の若干の晴れ間に雨対策をしながら、開催準備を行ってきました。

そして迎えた当日『晴!快晴!暑い!』予想を覆す天候に驚きましたが、参加される皆様も同様に一喜一憂を繰り返し、晴天を願っていたお話も聞いたので、その結果がこのお天気につながったんだと改めて感動です。  
『皆様ありがとうございます!』

さらにお天気だけでなく、このマルシェは初回からずっと地域の皆様のご協力で成り立ってきました。地域団体ご協力によるステージ設営や飾りつけ、DJによる音響機材のセッティングから会場の雰囲気づくりの演出。出演者同士でステージを盛り上げるための体制づくり。キッチンカー同士での紹介や連携。出店者間で紹介したりされたり誘ったり…。それぞれ皆さんが、このマルシェの開催にご協力いただき、会場設営から進行等、全体の雰囲気までも一緒につくりあげていく一体感のあるマルシェになっていきました。

開催までの広報活動も近隣を回って紹介したり、様々な分野のお店等にパンフレットを置かせてもらえるようになったり、そこからまた新たなご縁をいただいたり等々。これまで以上にいろいろな方に見ていただけるようになりました。

Instagramでの紹介もその一つ。たくさんの方に見ていただき、知っていただく機会となっています。驚いたことにInstagramを見て、山口県から行きますとのご連絡があり、嬉しいや

ら申し訳ないやら…ですが、それだけの魅力を感じていただけたという事で、素直に喜びたい出来事でした。当日は本当に見に来られて愛知県の食や文化に触れる機会になったようです。今後の新しい活動につながるかもしれない素敵なお縁でした。

Instagramでは当日の様子もご紹介しています。

『地域交流』・『ご縁』・『つながり』がおやマルシェ開催テーマ。

チャイプでご縁がつながって、お客さん同士もつながって、参加者同士もつながって、新たな『ご縁』も広がって、どこかで出会ってまたつながって…。

利用者さんにも新しい活動や社会参加へのきっかけづくりにもなっています。

皆様にも、この『おやマルシェ』が『ご縁』と『つながり』の場になりましたら幸いです。

ご来場くださいました地域の皆様や、ご協力いただきました地元企業様や地元団体様には、この場をお借りしまして御礼を申し上げます。

そして、暑い中少数で頑張ってくれたチャイプスタッフの皆さん、本当にありがとうございました。

また次のマルシェでお会いしましょう。

かしの木サポートプラザ  
管理者 入山 達也



## 櫛の木園芸センター さいた

平成20年にさいたが開所して、今年で16年の月日が経過しました。



現在、利用者8名職員3名で地域の人たちに愛される店舗を目指して、日々利用者さんと職員が一丸となり、花苗の生産を行っています。花苗生産の繁忙期には、保護者さんがボランティアとして手伝っていただいています。地域の人たちからは、さいたの苗は安くて丈夫だと好評です。

以前は、1ポット50円 12ポット500円の価格で販売を行っていましたが、昨今の資材高騰や消費税UPの波をうけ、出来る限り努力してきましたが、現在は1ポット60円 12ポット600円で販売を行っています。

ただ価格を上げるだけではなく、品質の向上にも力をいれています。

さいたの苗の特徴として、ハウスから直接出し販売ではなく、外の環境に馴染ませてから販売を行っています。その為、他の苗より丈夫に育ってくれます。また肥料等にもこだわり、昨今の気候変動にも耐えられるように、タンニン鉄を作り散布を行ったり、化成肥料の肥料分の比率もこだわっています。5年程前からは、春先のみとなりますが、野菜苗販売も始めました。お客様からも好評いただき、野菜苗の予約なども頂いています。

さいたの看板商品として人気なのが、季節感満載の寄せ植えで、毎月開催されるi・愛・逢マーケットでは、即完売しています。



またさいたで年2回開催しているさいたバザーも毎回盛況で、地域のお客様と利用者さんが、たくさん触れ合うことが出来る為、今後も続けていきたいと思っています。

そのほか花苗生産以外にも、日々の活動で内職作業を行ったり、施設外就労を行っています。

昨今需要があるのは、草刈り作業の依頼が多く、法人内の草刈りだけではなく、地域のお客様のお宅の庭から畑や公園や公共施設など幅広く行っており、お客様からきれいになり感謝されることも多くリピーターも多数みえます。



これからも、お客様に喜んでいただけるお店を目指し、利用者さん・職員が一丸となって花苗等の生産を行っていきます。お客様からお寄せいただくご意見も可能な限り取り入れて永く愛されるように邁進していきます。愛情いっぱい、丹精込めて育てた花苗をいつでもうれしいお手ごろ価格で販売いたしております。

ぜひぜひ「さいた」へお越しくださいませ。

さいた 水谷 泰成

## 「2024かしの木フェスティバル！」

行く夏を惜しむように、ひぐらしの声が聞かれる頃となりました。今年もかしの木フェスティバル開催に向けて着々と準備を進めております。今年は11月9日（土）に開催いたします。

昨年のかしの木フェスティバルは、4年ぶりの開催となりました。「進化」をテーマに規模を拡大し、3つの会場や様々なイベントを用意しましたが、ご参加いただいた皆様は楽しんでいただけたでしょうか？昨年の反省会では、良かった点、反省点を確認しました。新たな形でのフェスティバルは楽しめる内容も増え、手ごたえもありました。しかし、久しぶりということもあり、多々ミスがあったり、忘れていたりしたこともありました。これらの反省を活かし、きっと今年はもっと楽しく、もっと良くなるでしょう！

今年で21回目となるかしの木フェスティバルですが、2024のテーマは

### 「OMOROIYAN KASIFES」

～おもろいやん かしフェス～

と掲げました。実行委員会を中心に、主催者がわくわくして楽しみながら、おもろいと思えるイベントを創る。来場いただくお客様にはとにかく楽しんでもらう。最終的にみんなが「おもろいやん」って思えるかしの木フェスティバルにしたいという意気込みで、テーマを決めました。

現在準備を進めておりますが、会場の規模は昨年をベースに行います。今後、多少の変更はあるかもしれませんが、大まかな内容は以下の通りです。

### 「メイン会場」富田山グラウンド

- ・ステージイベント（6～7団体）
- ・キッチンカー、模擬店（約10ブース）
- ・車両展示（パトカー、消防車等）
- ・マルシェ、フリマ
- ・ふわふわドーム

### 「スポーツ会場」尾西河川敷グラウンド

- ・午前、午後に分かれてスポーツ教室（昨年は午前：陸上教室、午後：野球教室）  
※今年はまだ内緒です。
- ・様々なスポーツ体験 など

### 「アウトドア会場」ウッドデザインパーク

- ・焚火体験、焚火でおやつ作り
- ・モルック体験 など

全ては記載できませんでしたが、その他色々催しを準備しております。ぜひ期待しててください。

かしの木フェスティバルは、我々にとって1番とっていいほど大きなイベントです。本当に多くの方々の協力があって開催することができ、感謝を申し上げます。

このイベントに地域の皆様にはたくさん来場していただきたいと思っております。ご来場された地域のお子様や学生、大人の方々と、このフェスティバルがきっかけで、また新たな繋がりを作ることができれば、大変うれしく思います。

開催まで2か月ほどとなりました。スタッフ一同、おもろいと思えるかしの木フェスティバルとなるように準備をしていきます。11月9日（土）多くのご来場をお待ちしております。

では、2024かしの木フェスティバル

### 「OMOROIYAN KASIFES」

～おもろいやん かしフェス～

でお会いしましょう！

実行委員長 加藤 栄治



### 新人職員さんインタビュー ～新人職員さんのその後を追ってみました～

榎の木福祉会に新人職員さんが入ってから3ヶ月が経ち、各々の事業所における仕事にもだいぶ慣れてきた頃。フレッシュな新人さん6名のその後の仕事ぶりや活躍を追って、インタビューをしてみました！



〈榎の木作業所〉  
かしま じゅんぺい  
鹿島 淳平さん

(問) 仕事で楽しかった事はなんですか？  
(答) 利用者さんと、switchのバドミントンゲームと一緒にプレイした事です。また、こちらのお話が伝わりにくかった利用者さんにお話が伝わるようになり、心が通ったと思えた事です！  
(問) 入職当初と3ヶ月経った今で、印象が変わった事がありますか？  
(答) 作業の時間だけでなく、余暇活動にもかなり力を入れて支援をしている事です。



〈そら豆キッズ〉  
くした ちえ  
櫛田 千英さん

(問) 仕事で印象に残っている事はなんですか？  
(答) いつも元気な児童が、心が傷付いて泣いてしまう事がありました。それから本人さんの横に居て、背中をトントンしていたら身を委ねてきてくれた事です。  
(問) 5年後、10年後どうなっていたいですか？  
(答) 心理士として培ってきた知識と経験を生かして働いていられたらと思います。また、相手の心の声を聴く、語られていない奥の部分まで考えて対応する姿勢は、いつまでも大切にしたいです！



〈法人本部 経理課〉  
おがさわら かずま  
小笠原 和馬さん

(問) 好きな給食のメニューはなんですか？  
(答) 特に好きなメニューは、ラーメン・サバの塩焼・チキンカツです。  
(問) 入職当初と3ヶ月経った今で、印象が変わった事がありますか？  
(答) 法人本部は本部内の仕事以外にも、法人の開催するイベントの準備などにも取り組んでいるという事です！



〈らでうす〉  
ささき ゆずか  
佐々木 柚歌さん  
※写真右

(問) 仕事をしていて胸キュンした事がありますか？  
(答) 徐々に職場にも慣れてきて、利用者さんからのあいさつや話しかけてくれるようになった事です。  
(問) 社会人になり初めての給料は何に使いましたか？  
(答) 推しのライブへ行きました！



〈らでうす〉  
かじうら まさよし  
梶浦 正善さん

(問) 仕事で楽しかった事はなんですか？  
(答) 利用者さんに声をかけた時に、最初は反応が無かった利用者さんが段々と反応してくれるようになった事です！また、利用者さんの方から声をかけて貰えるようになった事です！  
(問) 5年後、10年後どうなっていたいですか？  
(答) 現場での経験を積みながら、知識も身に付けて資格も取り、スキルアップをしていきたいです。



〈そら豆キッズ〉  
まえじま あきこ  
前島 晃子さん

(問) 仕事をしていて胸キュンした事がありますか？  
(答) 抱っこして、そのまま眠ってしまう子がいて、「かわいい♡」と思います！  
(問) 5年後、10年後どうなっていたいですか？  
(答) 自分自身も先輩という立場になっていると思うので、人材育成が出来るような保育士になりたいです！  
職場としては、生活介護のお仕事に戻っているか、グループホームで勤務する事も考えています。

皆さん、お忙しい中インタビューに答えて頂きありがとうございました。今後のご活躍を期待しています！

おしらせコーナー

※かしの木フェスティバル  
令和6年11月9日(土)  
富田山グラウンドにて開催

※びさいまつり  
令和6年10月26日(土)～27(日)  
榎の木福祉会から出店あり。